

第52回滋賀県政世論調査単純集計結果<速報>について

担当：滋賀県 広報課 県民の声係
電話：077-528-3046

本年6月から7月に実施した県政世論調査の単純集計結果を取りまとめましたので、速報としてお知らせします。なお、今回の数値は「速報値」であり、後日（10月頃の予定）報告書により公表するものが確定値となります。

※四捨五入の関係上各選択肢の百分率（％）の合計が100.0%にならない場合があります。

1. 調査のあらまし

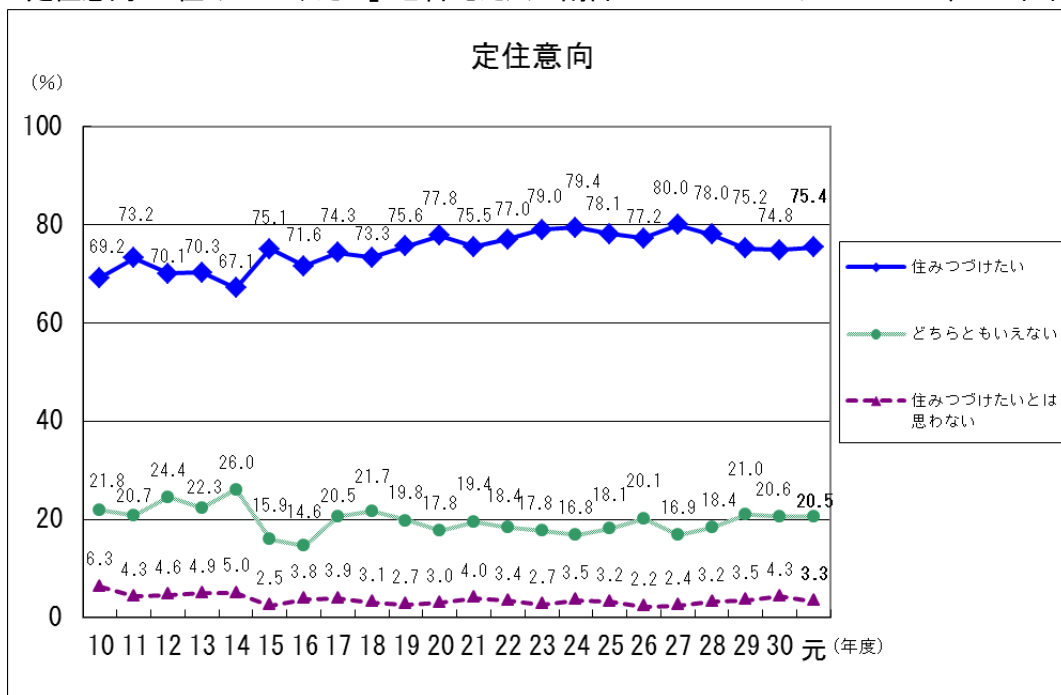
- 調査対象：県内在住の満18歳以上の個人
標本数：3,000人
調査時期：令和元年6月21日（金）～ 7月10日（水）
調査方法：郵送法・オンライン調査法の併用
調査項目：(1) 県政全体に関する満足度について（企画調整課）
(2) 県の広報・広聴活動について（広報課）
(3) 障害福祉について（障害福祉課）
(4) 地域公共交通に対する意識について（交通戦略課）

2. 調査票回収結果について

- 有効回収数（有効回収率）：1,508人（50.3%） <H30 50.9%、0.6ポイント減>
※有効回収数（郵送+オンライン）に占めるネット回答の割合 14.5%
※回答者の属性 18～19歳が1.3%、19～34歳が16.0%、35～49歳が25.9%、
50～64歳が27.7%、65～74歳が20.4%、75歳以上が8.0%

3. 主な集計結果について

- 県政全体に関する満足度
- 定住意向 「住みつづけたい」と答えた人の割合 75.4% <H30 74.8%、0.6ポイント増>



○ 滋賀県に対する誇りの有無

「誇りあり」（「持っている」と「どちらかというを持っている」の合計）と答えた人の割合
75.2% <H30 73.0%、2.2ポイント増>

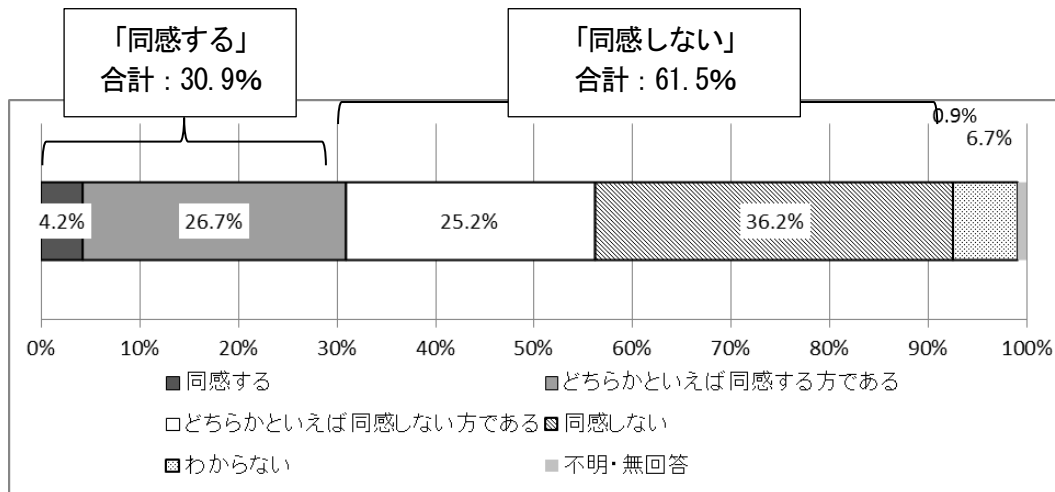
○ 性別役割分担意識への共感

<今年度からの調査項目>

「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべき」という考え方について、

「同感する」（「同感する」と「どちらかといえば同感する方である」の合計）と答えた人の割合
30.9%

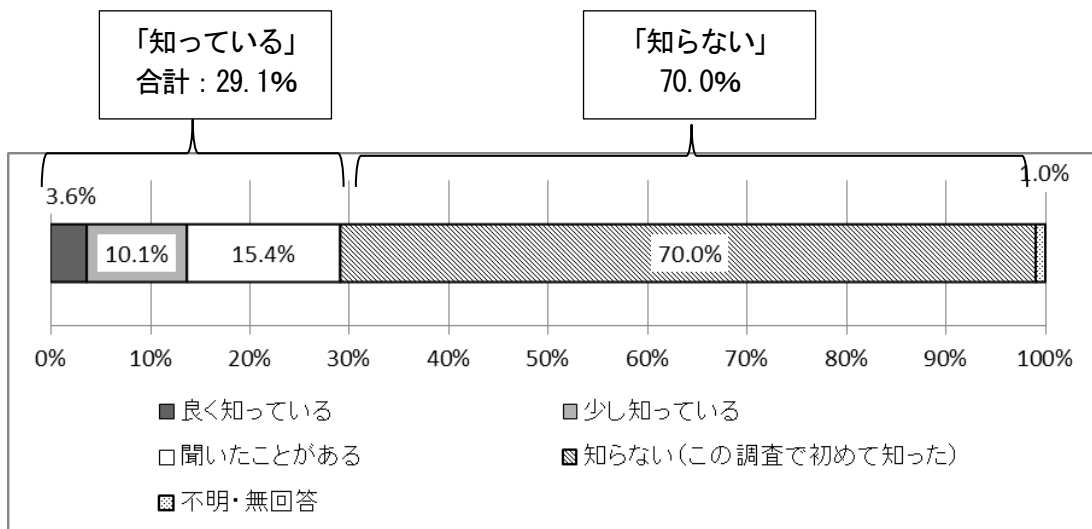
「同感しない」（「同感しない」と「どちらかといえば同感しない方である」の合計）と答えた人の割合
61.5%



○ SDGsの認知度

<今年度からの調査項目>

「知っている」（「良く知っている」、「少し知っている」、「聞いたことがある」の合計）と答えた人の割合
13.7%

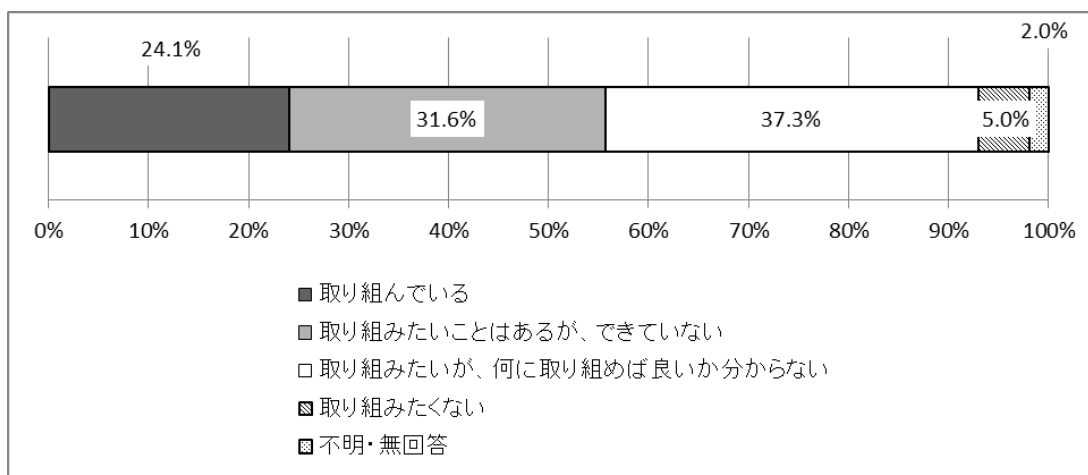


○SDGsを意識した取組について

<今年度からの調査項目>

「取り組んでいる」と答えた人の割合 24.1%

※認知度で「良く知っている」、「少し知っている」と答えた人へののみ質問

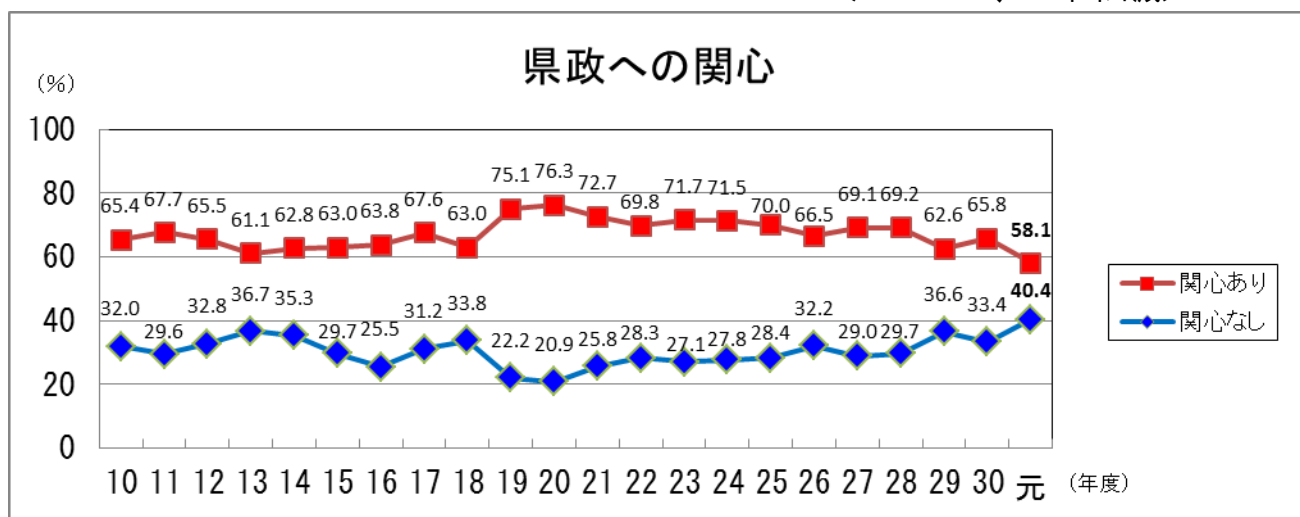


○ 県政への関心度

「関心あり」（「関心がある」と「まあまあ関心がある」の合計）と答えた人の割合

58.1%

<H30 65.8%、7.7ポイント減>



■ 県民生活への満足度について

各項目内容についての満足度を「感じる」「どちらかといえば感じる」

「どちらかといえば感じない」「感じない」「わからない」の5段階で評価

※項目内容についても、今回の調査より、県基本構想改定に併せ内容変更

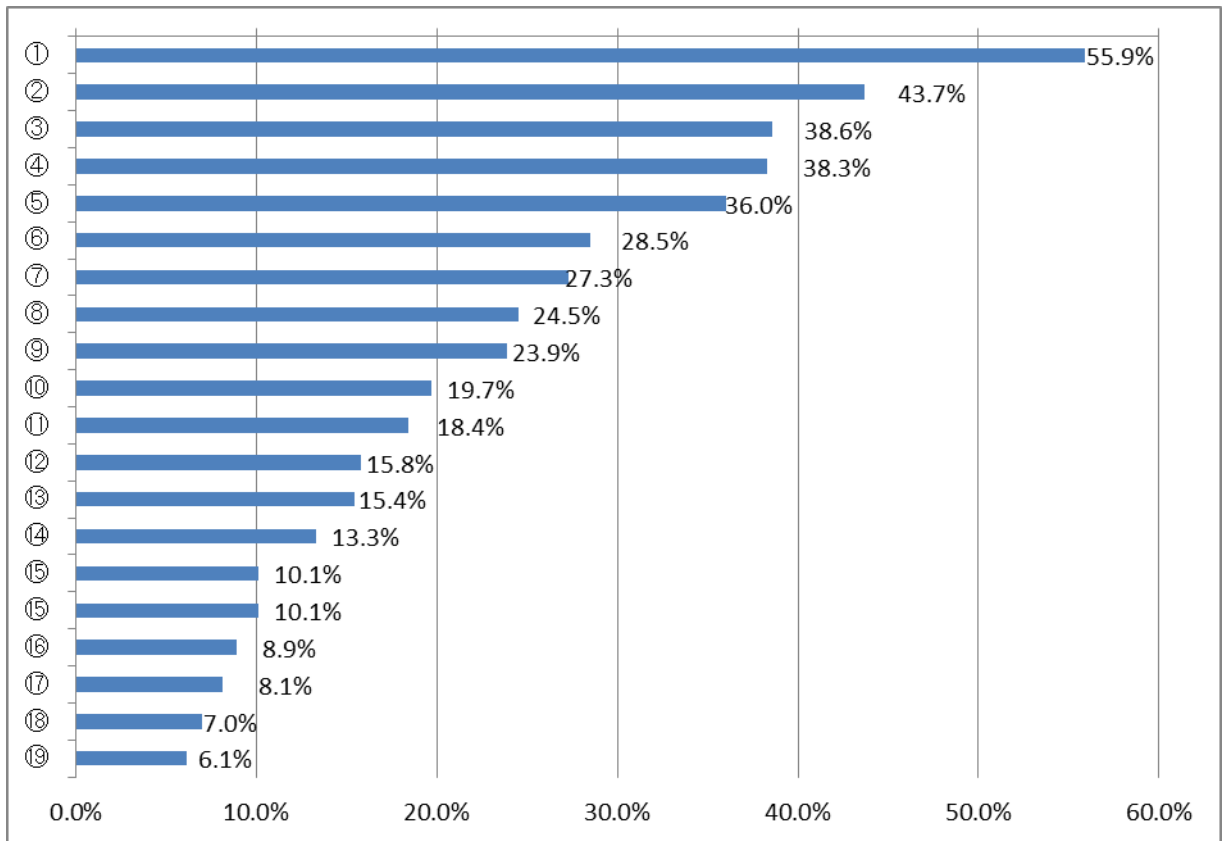
○ 満足度の高い分野（「感じる」と「どちらかといえば感じる」を答えた比率）

- ① 健康的な日常生活を送れていると感じるか 82.8%
- ② 必要な医療サービスを利用できる環境が整っていると感じるか 71.1%
- ③ 琵琶湖や山といった身近な自然や環境が守られていると感じるか 64.9%
- ④ 子どもを子育てする環境が整っていると感じるか 58.4%
- ⑤ 犯罪や事故が少なく、安全・安心な生活が送れていると感じるか 58.3%

● 不満度の高い分野（「感じない」と「どちらかといえば感じない」を答えた比率）

- ① 鉄道やバスなどの公共交通が整っていると感じるか 70.7%
- ② 滋賀県の魅力が発信されていると感じるか 58.4%
- ③ 地球温暖化などへの対応が進んでいると感じるか 56.7%
- ④ 災害に対する備えが進んでいると感じるか 53.7%
- ⑤ 農林水産業に魅力を感じるか 50.5%

○ 力を入れてほしい県の施策（5つ以内で複数回答）

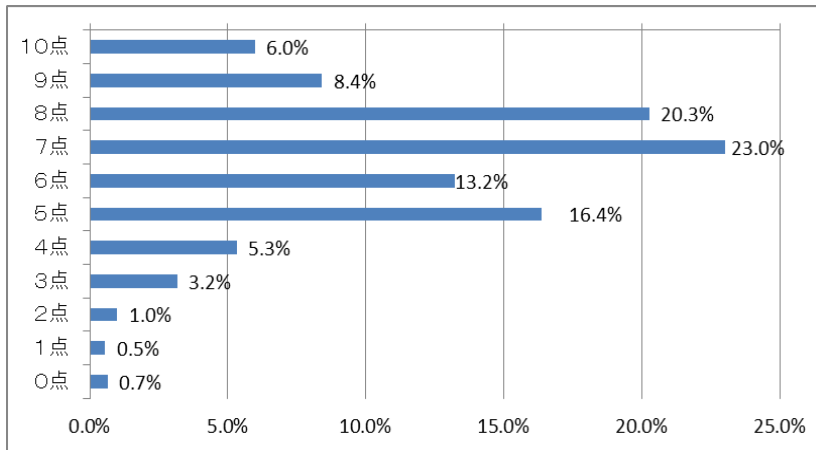


①医療サービスの充実	⑪中小企業の活性化
②福祉サービスの充実	⑫健康づくり
③防犯・交通安全	⑬観光振興
④公共交通の活性化	⑭地球規模の気候変動への対応
⑤子育て環境の整備	⑮文化芸術に親しむ環境の整備
⑥防災・減災対策	⑯スポーツに親しむ環境の整備
⑦琵琶湖や山などの環境保全	⑰地域コミュニティの維持
⑧教育の推進	⑱農林水産業の振興
⑨柔軟な働き方の推進	⑲農山漁村の多面的価値の維持
⑩社会インフラの整備	⑳共生社会の実現

○ 幸福度

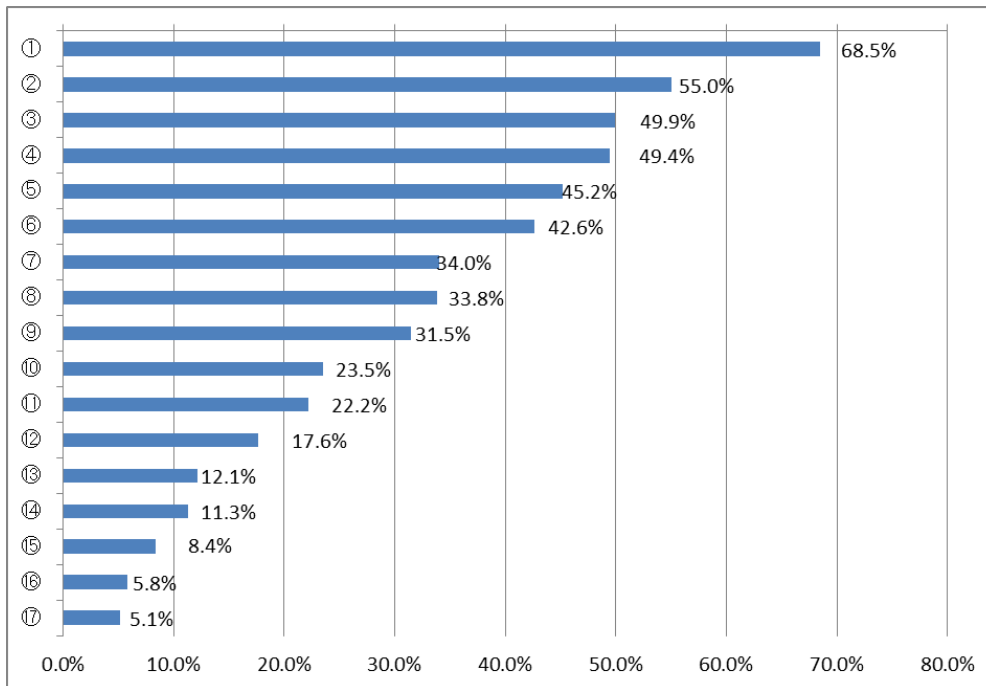
＜今年度からの調査項目＞

自分が感じている幸せの度合いについて、「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点だと思うか。 平均：6.67点



○ 幸せを感じるうえで大切なこと（複数選択可）

上問で回答したような幸せを感じるにあたり、大切だと感じることについて



①身体の健康	⑪豊かな自然環境
②家計(消費・所得)	⑫災害への備え
③家族とのつながり	⑬共生社会
④こころの健康	⑭学び・自己啓発
⑤自分らしい生き方	⑮結婚の有無
⑥治安のよさ	⑯文化芸術活動
⑦地域・友人とのつながり	⑰スポーツ活動
⑧住まい・住環境	
⑨仕事	
⑩子育て(環境・教育)	

4. 今後のスケジュールについて(予定)

クロス集計公表(県公式ホームページ掲載)、報告書公表 10月上旬